

おばらのじかん

— 創刊号 —
2014 Spring

巻頭
特集

おかえりなさいオバラっ子

— 帰って来て良かった! 「もう田舎中毒です…」 —

[ママは語る] 聞いて!! 教えて!! 小原のこと

[イラッシャイ小原へようこそ]

[おばらっきーが行く] 小原のお店紹介!

[郷土の味紹介] はこ寿司

[マンガ] イカくんキンちゃんの小原日記

[小原考察] 小原はリゾート地、バリ島!?

おかえりなさい



おかえりなさいオブラっ子
帰って来て良かった! 「もう田舎中毒です…」



今回第一回目の『おかえりなさい』は大坂生まれの32歳上村主維(シュエイ)さんと奥さんで熊本出身の愛さんにお話を聞きました。二人は九州で出会い結婚、一年半くらい前に愛さんを連れて小原に戻ってきました。現在は遊屋の市営住宅で快適な小原生活を楽しんでいるご夫婦です。



- 素敵な家ですね…部屋もたくさんありそうだし、駐車スペースもあるし…家のデザインもこだわってる。どんな人が住んでるんだろうと思いましたが…素敵ですね。ここが市営住宅ですか?**

ちょうど二人で小原で暮らすことを決めた時、タイミング良く小原で募集が軒出てたんで即決めました。家賃は38000円。中2階のある3階建てで言うのかなあ。部屋は全部で6部屋。2世帯でもOKですね、こなら…
- ラッキーでした。本当に静かで「おしゃれ」でしょ。街中だったら倍では済まないでしょうね…**

はじめからビックリです! さうそくインタビューさせてもらいたのですが、主維さんは大草だから本城小からおおば中だよね。小原を離れたのはいつだったの…?
- おば中を卒業し自宅から豊田北高へ通い、高校卒業してから小原を離れたんで今回こっちへ戻ったのは13年振りですかね。もちろんその間、お盆やお正月には帰ってましたが…**

九州で愛さんと出会い結婚した訳だけど、小原に帰ろうと思ったのはどうして…?
- 私が九州を出たかったというのがいちばんの理由ね。何か九州での人間関係というか、人の出す空気が自分も九州人だけと好きになれなくて…街(福岡)を出たかった。**

で、何処へと言っても行きたい所がある訳でもなし、付き合ってる時に二度小原に連れて来たことがあり、彼女がとても小原を気に入ったんで…
- それで主維さんはUターンを決めて愛さんと小原へ…ということね。**

いや、はじめから小原では彼女もきついだらうと思っただんで、まず豊田の市内のマンションを借り毎週末小原に来てました…そしたら彼女が…
- 私は豊田の街中の空気になじめなくて、週一回行く小原のきれいな空気や、何か人の心を和ませてくれる自然の力みみたいなものに惹かれ、小原に行きたいと私から言い出しました。**

「田舎すぎる所」が大好き!

へへ、愛さんからなんですか? 愛さんが小原に惹かれた所って、どういふ所か是非聞きたいですね?
- ひとことと言うと「田舎すぎる所」ですね。街か田舎か? とちつかずの中途半端じゃないところにすごく魅力を感じました。小原の空気や景色はとても穏やかで「ふわっ」としてやさしい気がします。それから小原の人は素朴で人間らしさを感じます。**

それ、僕もわかるような気がします…人がモノの後ろに付いてるみたいな…
- 街では人間関係がどこかねじれているような…気持ちづなからない感じがします。よく「田舎暮らしは淋しくないか?」って言われますが、街の中に人がいっぱいいても逆に孤独で淋しい…と思うことの方が多かった。小原でいい仲間も見つかったし、人と人の距離や密度というか私に丁度合ってる気がします。**

よく彼女から「小原のあそこがいい、こないだの所がある」と言われるけど、ここで生まれ育った僕にはよくわからない。だけど小原に戻って、外から

来た同世代の人たちと出会い、いっしょに飲んだり話したりして新しい仲間も出来る」と小原もいい感じで変わって来たなあと思うし、とても新鮮で居心地がいいです。最近は一人と『田舎中毒』にならなうって思います。

こんな健康的な「中毒」はないね…

『田舎中毒?』それはどういう意味ですか?

今は小原の外へ出ると早く帰りたい…と思うことが多い。こんな健康にいい中毒はないと思うね。また来たくなっちゃうようなね…

今「たまご村」の養鶏場で働いてますが、仕事が終わり家へ帰る時、どんな時でも途中で空を見ちゃうんです:本当にきれいなんです。夜の星空も格別だし:小原には気持ち癒してくれる自然と人の調和した空気があるんですよ。

僕もそれに惹かれて小原に引越してきたんで、愛さんのその気持ちは良くわかります:で、小原での暮らしはどうですか?

ここでの生活はこれまでの人生の中でいちばん楽しい。空気も人も健康にいい暮らしをしようと思えます。歩いているといろんな人から「野菜持つてけ」と声がかかり、家に戻るときは野菜を抱えていることがよくあります。あのおじさんの白菜、あのおばさんの大根:とか、毎日食べるものに人の顔が見れるのは安心して豊かなことですよ。ここで子どもを産み育てるのは理想的だと思います。

そして家賃も安いし、お金がからないうちは生活は楽ですね。本当にいいもの、欲しいものは車で一時間もかけずに街に出られるし、街に行きたいって思わなくなりました:何にもないけど何でもある。ここで生きてる時間は「ぜいたく」だと思います。

それから去年の『軽トラあんどんパレード』に参加して、あんな楽しかった。小原の人たちって本気出したら、スゴイもの作れるんだって感じしちゃいました。真つ暗闇の田舎道を走る『軽トラあんどん』本当にきれいだつた…



だから今年も仲間を声にかけて3台くらいで参加しようと思つてます。僕が小原を出た時にはなかった、みんなが参加できるあんなパレードが始まつていて「小原が変わつてきたなあ」と思います。あれは是非みんなに見て欲しいなあ…

みんなが集まれる場所を作る

変わらない良さの上に新しい良さが加わる、それ大切だと思います。新しい動きということで、主維さんは最近お店を始めたつて聞きましたが、本当ですか?

はい、金曜と土曜の夜しか営業しない店で、酒場というか茶店というか、小原の僕たち世代が集まれる場所が欲しかったので:小原で仲間と会えて話せる店が欲しい、それだけです。

一昨年も、昨年も暮れに主維君の友だちがうちに集まるんですよ。去年はおぼ中の同級生が12人で暮れの同窓会みたいな。帰省してきた友だちが行く所がない:、それならみんな

が気軽に集まれる場所を二人で「ヤロウ」ということになつたんです。

僕もそういう場所というか、お店が欲しいと思つてたんで嬉しいです。最後に小原を離れている人たちへのメッセージを頂けますか?

これから田舎暮らしはもっともつと楽しくなるよ!帰つておいでん!

何もないけど街にはないモノがココ(小原)にはたーくさんあるよ!30代:これから皆で楽しい里山暮らし造つてこーよ!

主維さん、愛さん、今日はどうもありがとうございました。

名古屋の大須という下町で7歳から50年ずつと街暮らしをして、還暦まじかの年になつて小原に引越してきた僕には「変わらない小原の良さ、長い時に培われた安心で豊かな生活。それは最近、選挙のうたい文句である『安心安全で豊かな暮らし』がそのままある。街は『安心・安全・豊か』が失われてきて久しい気がする。この小原の持つてくる本質的な財産を守るだけでなく、若い人たちが気づき育むことで今の時代が抱えている問題」に答えが出せるような気がしました。今、そしてこれからの時代を生きて若者たちの生き活きとした小原生活が都市へのメッセージになると確信します。

M.T



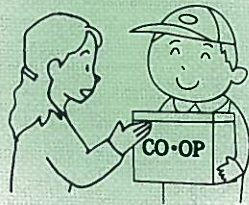
買い物は、どうしてるの？

車で30分～40分圏内に長久手アピタ・藤岡メグリ
ア・瑞浪パローがあるよ。ネット通販なんかも
活用してる。コンビニもあるからなんとかなるよ。



夏は、クーラーBOXが必需品!!

休みの日に、家族でお買いもの♪一週間分とか
まとめて買いしちゃう。個人宅配・共同購入やメグ
リアの移動販売車も便利だよ。



ご近所さんとの コミュニケーションが大切

天気の良い日は、子供とさんぽ♪おじいちゃん、
おばあちゃんにいろんなことを教えてもらえる
チャンスだよ!!小原支所・小原交流館では、地域の
いろんな情報も手に入るから足を運んでみてね。



病気になったらどうしよう…

ちょっとした病気なら小原の診療所で大丈夫。
専門医でも車で30分～50分圏内に病院はある
し、急患でも医療センターまで45分くらいかな。



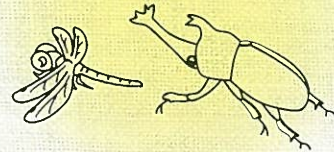
聞いて!!教えて!!小原のこと 小原の子育てってどんな感じ?

T.I

K.K

自然がいっぱい

バーチャルでない本物の虫・小動物にあえる!!
夏は、カブト虫・ほたる、秋は、赤とんぼ。リスや
フクロウにもあえるかもね。



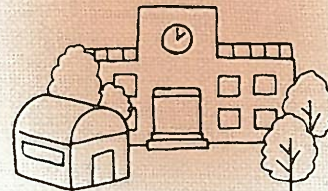
学芸会・運動会って どんな感じなの

一人何役もあつて子供は大忙し!!こじんまりして
いるけれど、ほのぼのしてるし、見応えはあるよ。



学校の生徒数は多いの、 少ないの?

小学校は、学年1クラスで10人前後。中学校
は、学年1クラスで30人前後。人数は少ないけ
れど…一人ひとりを大切にみてもらえるかな。



ママ友…どうやってさがそうかな

趣味を通してなら、交流館でエアロビ・合唱・パッ
チワークなどいろんなグループがあるよ♪公園
デビュー!?といえば四季桜公園か、こども園の園
庭開放にいくと、同世代の親子に会えるよ。



写真:紀子さん
瑛合ちゃん(小6)

藤本 紀子さん(荷掛) いっぱい体験できる

娘が年長さんになる時、主人の実家に
引越してきました。四季折々の自然に
囲まれて子どもが育つという環境の良
さ、それは町では無理…自然から学ぶ
ことで五感が育つ…。学校も少人数な
ので上級生から下級生までいつも一
緒で、先輩は下をかわいがり、後輩は
上を頼りにする…そんな「人間関係」
が生まれ体験できるのがいいですね。



写真:愛さん
湊くん(3歳)
みつき
満月ちゃん(6ヶ月)

浜辺 愛さん(小原大倉) おばさんと遊びにおいでよ…

環境の良さで小原に家を買いました。
まわりは知らない人ばかりで不安でし
たが、近所の皆さんが自分の孫のよ
うに息子をかわいがってくれます。用事
で出かける時も預ってくれたり、近所付
き合いの敷居が低いので、親が遠く
ても安心できます。街のように気取らな
くていい、人に助けてもらうのを恥ずか
しいと思わなくなり「楽」になりました。

Welcome Obara

イラッシヤイ

小原へようこそ

名 古屋から小原に移り住んだ大きな理

由は「子育て」。結婚してすぐ子どもが
でき、生まれて来る子どもを街の汚れた空気
の中で育てたくないという環境の良い田舎で暮ら
すことを決めた。昨年の11月千洗の古民家
に引っ越し来たという駒田夫妻。現在小原
生まれの「らちゃん(二歳)」との3人暮らし。

旦那さんの尚人(なおと)さんは家具職人
として創作家具を作り、奥さんの記子(のり
こ)さんは、バリの有名なケーキ屋さん「サダハ
ルアオキ」のもとで3年修行したパティシエと
いう夫婦。二人とも依頼されてから作るとい
うオリジナルの家具とケーキのクリエイター
である。ちなみに記子さんの作るシューク
リームは絶品、誕生日ケーキを頼まれること
も増えたとのこと。また、尚人さんが最近製
作したのは「家具のような仏壇」を作って欲
しいというお客さんの注文で、納品した時は
とても喜ばれたとのこと。

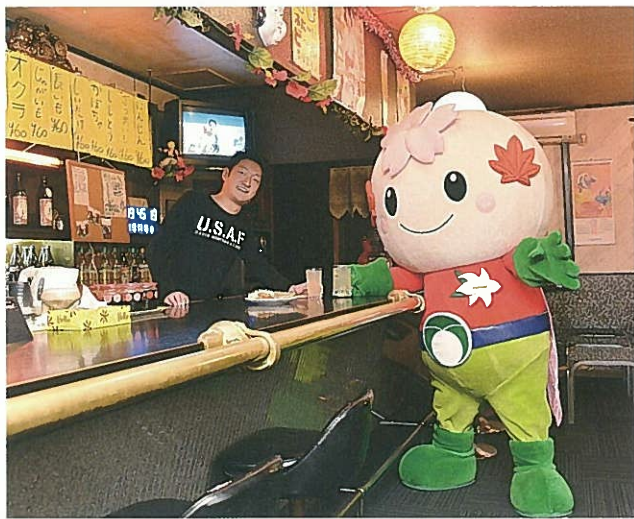
街で仕事をした帰り、小原に着き車を降
りた時は必ず広いきれいな空を見てしまう。
そんな小原の環境が好きだと言う。住んで一
年ちょっと。まだまだ小原について知らないこ
とがいっぱいだが、最近「スローライフは忙し
い」と草刈り／薪作りなど田舎暮らしに面
白みを感じはじめた。今は田舎の良さが知れ
たことで、逆に街を新鮮に感じられるよう
になったと言う。奥さんはらちゃんを背負って
ケーキを作り、旦那さんは納屋で家具を作
る。子どもにはそんな親の仕事をする背中
を見せて育てたいという。新しく小原住民に
なった駒田家族が、これから小原でどんな世
界をふくらませてくれるか期待したい。よ
うこそ小原へ！らちゃんが素敵な女性に
育ちますように。

M.T



Vol.1
エムハウス
上仁木町

「おばらっきーが行く」 小原のお店!!



1 若者が楽しく飲めるお店があると聞きつけて、
おばらっきーが突撃取材！今回おじゃましたのは、
上仁木町にある「エムハウス」さんです。お店に入ると
陽気なマスターがお出迎え！一緒に乾杯をするおば
らっきー。

※平成17年生まれのおばらっきーが飲んでいるのはノン
アルコールです。



2 人気の串
カツに大満足の
おばらっきー。
カラオケやダー
ツをして楽しい
時間を過ごし
ました。



3 お店からの一言
ダーツ・カラオケと若者が中心に串揚げ
とお酒を楽しむお店。串揚げは野菜
をメインに女性でも気軽に注文して
いただけます。オリジナルのソースで、
大阪風に2度漬け禁止になっています。

T.M

エム
串揚げ～M～ハウス
上仁木町下田393-4
定休日:木曜日
営業時間:PM7:00～MID
電話:0565-65-3024
料金:お1人様平均2000円





「郷土の味紹介」 はこ寿司

山で採った茸、へボ(黒スズメバチ)、魚のデンプに錦糸卵、
畑で取れた色鮮やかな具材がはこ寿司を彩る。

昔から秋の収穫が終わると里ごとの鎮守の森の秋祭りが始まる。
農家の祭り料理の主役は『はこ寿司』で何処の家でも作ってもてな
しをした。器に彩りよく盛りつけた『はこ寿司』は食卓を囲む者の食
欲を誘う。中でも寿司の上
飾られた色々な具が興味の的
で、つつい手が伸びる逸品料
理となった。

F.N

小原考察 小原は リゾート地、 バリ島!?

小原には多くの別荘があることをご存知だろうか? 特に小原一帯、高の高い土地、小原田代町には豪華な別荘が点在する。大きな別荘もさることながらテニスコートやプールのついたものまで、ここは小原なの? と疑うほどだ。私は小原出身だが都会で暮らしたことがあり、今になると小原の良さがよく分かる。都会の雑踏のなかで暮らしていると、小原の森は静かで気高く、神様さえ信じたくなる。そういえば、以前バリ島のウブドに似ているから小原に住んだ人がいたと聞いたことがある。実際、私もウブドに行った時、田園が多く、森も深く小原を感じた。そんな小原の別荘で過ごす家族との週末は、まさにリゾート地なのだろう。若いころは田舎なのが嫌だったが、小原を離れてわかる魅力なのかもしれない。

T.S

**おばらに
住みたい人必見!
豊田市の
空き家バンク**

豊田市 空き家バンク 検索

www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

**軽トラあんどんパレード!
おばちゅうCafe!
今年も夏開催予定!!**

パレードも募集しますよ!

最新の情報はフェイスブックで
随時アップしますのでご期待!

www.facebook.com/obachuu

小原いろいろ情報

小原白宇感 編集後記

小原の時間には、奥深いやさしさを感じます。少しの不便を受け入れたと、その中から忘れかけていた大切な『物』『事』が見えてくる気がします。豊かさを心とからだに感じながら、私は大好きな小原の応援団でありつづけたい。

H.M

あちらこちらの沢から流れ出た水で、水車がこりこり動き始めた感じ。見渡すと、他でも回っている水車があって…。どんなチカラが生まれ、どんなシゴトができるか? 春の始まり、なんだかワクワクしますね!

K.K

夫婦で小原に移り住んで10年。人間の肉体は、7年で総入れ替えといわれるので、すでに十分小原モン? でも、食材はアピタややまのぶで買うことが多いので、長久手モン、梅坪モンの混ざりモンです。これからもよろしく……。

K.Y

Uターンに戻ってきて8年、小原にもIターンやUターンの新しい風が吹いてきたと思う。僕は地元なのに小原について知らないことも多い。もっと掘り下げて、小原の新旧がエキサイティングに交わりと面白いな～。

T.S